



故きを温ねて、新しきを知る。『葵学園のあしあと』

現在の帯広葵学園は、帯広の森幼稚園、つづじが丘幼稚園、緑陽台保育園、012青い鳥保育園、そしてあおとりプラス緑陽台教室、帯広教室を経営する学校法人です。しかし、ここまで来るには50年余の時間が必要でした。

論語に「温故知新」という言葉があります。これは、古いことも新しいこともよく知っていてこそ初めて人の師として心ざわしいのだという意味です。つまり、昔のことをよく知ることから新しい知識や見解を得ることができると言っています。

葵学園の歴史は、昭和39(1964)年に帯広市東5条南8丁目にある大然寺の境内につくられた「葵幼稚園」から始まります。園児は9人でした。よって、葵学園の始まりはこの葵幼稚園にあることから今年で満53歳になる幼稚園だと言えます。

葵幼稚園は、翌年、昭和40(1965)年には「葵幼稚園」と改名します。経営母体は、宗教法人帯広源照学園です。この「源照」とは、初代園長の大高源照氏の

学校法人帯広葵学園

理事長 上野敏郎

名前からとっています。この年の園児は46人でした。

昭和40年の帯広市の人口は、115,378人です。市内に七つの幼稚園があり、1,437人の子どもたちが通っていました。

ここで、七つの幼稚園を紹介します。

- ① 双葉幼稚園 (明治44年設立)
  - ② 帯広幼稚園 (昭和11年設立)
  - ③ 帯広藤幼稚園 (昭和29年設立)
  - ④ 帯広大谷幼稚園 (昭和31年設立)
  - ⑤ 帯広東幼稚園 (昭和32年設立)
  - ⑥ 帯広聖公会幼稚園 (昭和30年設立)
  - ⑦ 柏林台カトリック幼稚園 (昭和37年設立)
- ※昭和63年、普更町に移転
- なぜか、昭和40年4月に開設した葵幼稚園はこの中に入っていない。

子どもに必要なことはすべて『児童憲章』の中にあります

児童憲章ってな〜りに

昭和25年、1951年5月1日 大人は、日本国憲法の精神を教りどころにして、すべての子どもの健やか、心ましく、しあわせにするため、いつまでも変わらぬい「愛」を注ぎました。それが『児童憲章』です。



児童憲章をカタチに

あり日、入へたちは誓ったのです。

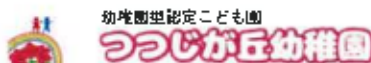
子どもの、とともいふ。

子どものためになるい未来を

必ずつくりたいです。



幼稚園型認定こども園  
**帯広の森幼稚園**



幼稚園型認定こども園  
**つづじが丘幼稚園**



保育所型認定こども園  
**緑陽台保育園**



小規模保育所  
**012 青い鳥保育園**



未就園児教室・ベビーダンス教室  
**あおいキッズハウス**



児童発達支援・放課後等サービス・保育等相談支援  
**あおとりプラス**